

議題 2) 「駅前カフェ」の開催報告と今後の「つかう会議」の進め方について

1. 駅前カフェの開催概要 (1) 駅前カフェの目的

- 見附市では見附駅前の交通渋滞や安全性の問題をクリアしたうえで、駅前に歩行者のための空間（交流広場と呼びます）を確保したいと考えています。自由通路整備と改札の移設により、現駅舎は市民のためのスペースに使えるようになる可能性もあります。
- しかし、ただ交流広場を整備したり駅舎を開放するだけでは交流は生まれません。つくるまえの段階から、この交流広場や駅舎建物を誰が、どのように使いたいのか、ということをしつくりと話し合い、それに基づいて整備・活用計画を立てていくことが重要だと考えます。
- このような思いから、「みつけ駅前カフェ」を企画しました。

(2) 駅前カフェ開催概要

■参加者の属性は以下のとおり。参加者は回によって異なるが1回あたり30名～50名程度が参加。

エリアマネージャー	見附市公式 FACEBOOK リポーター
企業・商業・観光物産協会関係者	区長・青年会議所
見附地区西部地区コミュニティ準備会関係者	その他市民（サークル活動など）
見附高校 学生	長岡造形大 学生
見附市役所職員（参加者として）	学識経験者
事務局（企画調整課）	コンサルタント

■各回の日程、テーマ、主な内容は以下のとおり。

日程	テーマ	主な内容
H30.01.30 17:00 ～18:50	見附駅の役割と 使い方について 考える	1. 懇談会の趣旨説明 2. レクチャー（貝島先生）「交流や賑わいの場としての駅周辺整備の効果」 3. レクチャー（渡邊先生）「まちなかの賑わい創出と市民・民間団体への期待」 4. 意見交換（グループごと）
H30.03.07 17:00 ～19:00	見附市にはど んな人がいるの？ どんなことをし ているの？	1. 懇談会の趣旨説明 2. 実際に活動している方の話を聞いてみよう 活動紹介その1（今町地区エリアマネージャー 小林さん） 活動紹介その2（見附地区エリアマネージャー 松本さん） 活動紹介その3（第一ニットマーケティング 加藤さん） 活動紹介その4（長岡造形大学3年 末松さん） 3. 意見交換（グループごと）
H30.04.27 16:00 ～19:00	「駅前をつかう」 社会実験でやっ てみたいことを 考えよう	1. 懇談会の趣旨説明 2. 見附駅前の現地視察 3. 意見交換（普段使いとイベント使いに分かれて） 4. 今後の活動予定（つかう会議について）

みつけ駅前カフェ（第1回）

～見附駅の役割と使い方について考える～



見附市では見附駅周辺の交通渋滞の解消とともに、駅周辺の空間をクルマのためだけの空間でなくヒト（歩行者）にとって居心地がよく、様々な活動ができる交流拠点とすることを旨として改修整備に向けた検討をしています。

これに合わせて、見附駅周辺の今後の役割や市民・学生・団体・企業の皆さまと行政との連携によって駅前でどんな活動や交流ができるか、さらには見附地区や今町地区にどのような効果を波及させることができるか、などをカフェのようにリラックスした雰囲気の中で自由に語り合う場として、下記のとおり懇談会を開催することとしました。

見附駅を変えていくための懇談会に、あなたも参加しませんか？

※懇談会は、今後複数回の開催を予定しています。今回は第1回目です。

【懇談会開催のご案内】

日 時：平成30年1月30日（火）
17:00～18:50

場 所：見附市役所 4階 大会議室

参加方法：会場の都合がありますので事前にお申し込みの上、直接会場へお越しください。（申込みは下記問い合わせ先まで）

【当日のプログラム（予定）】

1. 見附駅周辺の今後の役割について
2. 駅前広場のつくり方、使い方の事例紹介（貝島桃代氏より）
3. まちなかの賑わい創出と市民・民間団体への期待（渡邊誠介氏より）
4. 参加者との意見交換



渡邊 誠介氏
（長岡造形大学教授）
■専門分野：
都市計画・まちおこし
■見附市との関わり：
見附駅周辺まちづくり協議会 座長



貝島 桃代氏
（筑波大学准教授、
スイス連邦工科大学
チューリッヒ校教授）
■専門分野：
建築、都市デザイン
■見附市との関わり：
見附駅周辺まちづくり協議会 委員



塚本 由晴氏
（東京工業大学大学院教授）
■専門分野：
建築、都市デザイン
■見附市との関わり：
見附駅周辺まちづくり協議会 副座長

【お問い合わせ先】 見附市 企画調整課 担当：遠藤、姉崎
電話：0258-62-1700(代表)内線315 FAX：0258-63-1006

第1回みつけ駅前カフェ開催告知ポスター

懇談会「みつけ駅前カフェ（第1回）」

～見附駅の役割と使い方について考える～ 開催報告

日 時：平成 30 年 1 月 30 日（火） 17：00～18：50

場 所：見附市役所 4階 大会議室

主な内容：

- 懇談会の趣旨説明（見附市）
「見附駅周辺のむかし、いまと今後期待される役割について」
- レクチャーその1（貝島先生）
「交流や賑わいの場としての駅周辺整備の効果について」
- レクチャーその2（渡邊先生）
「まちなかの賑わい創出と市民・民間団体への期待」
- 意見交換（グループごと）

参加者属性：下表のとおり

属性	人数
エリアマネージャー	2名
見附市公式 FACEBOOK リポーター	2名
企業・商業・観光物産協会関係者	6名
区長・青年会議所	3名
見附地区西部地区コミュニティ準備会関係者	6名
その他市民（サークル活動など）	2名
見附高校 学生	4名
長岡造形大 学生	12名
見附市役所職員（参加者として）	4名
学識経験者	3名
事務局（企画調整課）	4名
コンサルタント	2名
計	50名

グループディスカッションの概要：

参加者のみなさんに5つのグループに分かれていただき、「見附駅周辺にどんなことを期待する？」「見附駅周辺にどんな機能（モノ・コト・ヒト）が必要？」などのテーマで意見交換しました。（以下は、各グループで議論されたキーワードの一例です。詳細は次ページ以降のディスカッションシートをご覧ください）

【第1班】

- 安全、防犯、景観（花や緑）
- 子どもたちの居場所や快適な待合いの場
- 見附地区や今町地区と駅とのつながり
- ローカルなお店 など

【第2班】

- 学生（市外学生も）が集える場
- 学外の趣味の活動、持ち込んで楽しめる場
- 昼は学生、夜は大人向けの場所
- 芝生の広場、電車を眺める場所 など

【第3班】

- 待ち時間に時間をつぶせる場
- （屋外）ライブハウス、スケートボード、釣り堀、多目的に変化する空間
- （屋内）図書館、自習スペース など

【第4班】

- 見附市が好き！
- 高校生が過ごせる場（カフェや自習室）
- 送迎の親も楽しめる場とは？
- コミュニティのイベントの会場 など

【第5班】

- 時間をつぶせる場（カフェ、待合い）
- 「発信」と「結節」の機能
- 若者や子育て世代が集まる場（ダンス、音楽、インスタ映え、イベント） など



グループディスカッションの様子

開催時の様子：



金井課長（企画調整課）あいさつ



見附市からの趣旨説明
「見附駅周辺の今後の役割について」



貝島准教授（筑波大）プレゼン
「駅前広場事例紹介 北本顔プロジェクト」
（埼玉県北本市 JR 北本駅西口駅前広場）



渡邊教授（長岡造形大）プレゼン
「まちなかの賑わい創出と市民・民間団体への期待」



塚本教授（東京工業大学大学院）による講評

懇談会「みつけ駅前カフェ（第2回）」

～見附市にはどんな人がいるの？どんなことをしているの？～ 開催報告

日 時：平成 30 年 3 月 7 日（水） 17：00～19：00

場 所：見附市役所 4 階 大会議室

主な内容：

- 懇談会の趣旨説明（見附市）
「第 1 回懇談会の振り返りと第 2 回のテーマについて」
- 実際に活動している方の話を聞いてみよう
活動紹介その 1（今町地区エリアマネージャー 小林さん）
活動紹介その 2（見附地区エリアマネージャー 松本さん）
活動紹介その 3（第一ニットマーケティング 加藤さん）
活動紹介その 4（長岡造形大学 3 年 末松さん）
- 意見交換（グループごと）

参加者属性：下表のとおり

属性	人数
エリアマネージャー	2 名
見附市公式 FACEBOOK リポーター	2 名
企業・商業・観光物産協会関係者	6 名
区長・青年会議所	2 名
見附地区西部地区コミュニティ準備会関係者	7 名
その他市民（サークル活動など）	2 名
見附高校 学生	5 名
長岡造形大 学生	4 名
見附市役所職員（参加者として）	4 名
学識経験者	3 名
事務局（企画調整課）	4 名
コンサルタント	2 名
計	43 名

開催時の様子：



今町地区エリアマネージャー
小林さん



見附地区エリアマネージャー
松本さん



第一ニットマーケティング
加藤さん



長岡造形大学 3 年
末松さん



グループディスカッションの様子



渡邊先生による参考事例紹介
及び講演

グループディスカッションの概要：

参加者を属性によってグループに分けて、属性ごとに以下のようなテーマを設けて意見交換を行いました。

グループ例	意見交換テーマ案
地元ベテラングループ	見附市にはどんな人がいるの？ どんなことをしているの？
地元ワカモノグループ	ワカモノはどこにいるの？ どんなことをしているの？
企業&大学生グループ	ソトから見た見附ってどんな まち？ どんな駅前なら降りてみたい？

みつけ駅前カフェ（第2回）

意見交換とりまとめ

地元ベテラングループ

- 神社を中心におまつりしていた
- 世代間の交流が失われている
- 西地区コミュニティがイベントを取捨選択していくとよい
- お金と人材の発掘が必要
- やりたい人に思い切って任せる
- 発表する場を求めている？
- 地域サポーターの力も活用
- 本日の発表者に加えて、スポーツ協会、西地区コミュニティ、オコキャンなど多数
- いろいろな「楽しい」がある街イベントだけが「楽しい」じゃない
- 昔は駅前に旅館がもっとあった
- 駅前でヨガやバンド活動など
- 駅には自由な広場がほしい（アオーレのような、制約のない空間）

地元ワカモノグループ

- 【いまのワカモノの居場所】
・平日は集まらない
・ウオロク、プラント など
・音楽やるところがない
- 【昔のワカモノ】
・学校に遅くまでいた
・長岡の友達と待ち合わせ
・両世代が使うカフェ
「青い鳥」（駅から遠い）
- 本屋が近くにない
- 総合体育館でスポーツ
温水プール（市外）
↓
身体を動かす活動がもっとまちに出てきてもよいのでは？
- 駅にしていると気持ちが落ち込む
- いと楽しい、安心な空間
- トイレは無いものと思っている
- 好きなコトをやっているひと
同士が見る・見られる関係

企業&大学生グループ

- 見附の魅力
・ニット、木工、メーカー
・ニット帽（シンボル）
- どういう駅なら降りたい？
・駅を使わなくても寄れる場所
・いろいろなイスがある
（座ってみたい、寛ぎたい）
・フォトジェニック
- ニットカフェ？
・それぞれの地域のうまいもの
・100円餃子 ・白アイス
・ぶっくらまんじゅう
・メダカの煮つけ など
- 越後湯沢ののれん街がよい
- 企業と学生でコラボしたい
- 駅にも日帰り温泉やフィットネスクラブ（常習性のあるものがほしい）
- 座れる場所、カフェ、おいしいものが食べれる、などが全体的な意見

全体討議

- フォトジェニック、カフェがあるなら行きたい
- 潜在的な活動を繋げる場所
- 小さい実験をやってみる??
次回、どんなことができるか議論をしましょう

懇談会「みつけ駅前カフェ（第3回）」

～「駅前をつかう」社会実験でやってみたいことを考えよう～ 開催報告

日時：平成30年4月27日（金） 16:00～19:00

場所：見附市役所4階大会議室及び見附駅前広場（現地視察）

主な内容：

1. 懇談会の趣旨説明（見附市）「これまでの懇談会の振り返りと今回の趣旨や進め方」
2. 見附駅前の現地視察
3. 意見交換（普段使いグループとイベント使いグループに分かれて）
4. 今後の活動予定（つかう会議について）

参加者属性：下表のとおり

属性	人数
エリアマネージャー	2名
見附市公式FACEBOOKリポーター	1名
企業・商業・観光物産協会関係者	4名
見附地区西部地区コミュニティ準備会関係者	3名
その他市民（サークル活動など）	2名
見附高校 学生	4名
長岡造形大 学生	5名
見附市役所職員（参加者として）	4名
学識経験者	2名
事務局（企画調整課）	4名
コンサルタント	2名
計	33名

見附駅前現地視察の様子（上段）、グループディスカッション及び発表の様子（下段）



グループディスカッションの概要：

- ① 予めチーム分けはせず、「普段使い」と「イベント使い」のどちらかを考えてみたいかをご自分の意思で決めていただき、2つのグループに分かれていただきました。
- ② グループのなかでやりたいことを意見交換していき、自分の興味が持てる社会実験企画（＝やってみたい企画）でチームを編成しました。
- ③ チームごとに社会実験の企画の内容を検討し、最後にチームの代表者から企画案について発表しました。

■参加者が検討した社会実験企画 「普段使い」

企画名	企画の内容
カフェをつくろう (カフェ・クッチャイ ＝おなかいっぱい)	・カフェスタンド（移動式）とすてきなイス（ソファ）を置く ・本・ブラレール・学習室・wi-fiがあるカフェ ・昼はママ、夕方は高校生と、曜日や時間でコンセプトが変化する
呑む！	(駅前を滞在できる空間とするために) ・駐輪場2階をBARテラスとする（ピリヤード&ビール） ・地下道を昭和のガード下風の横丁とする（屋台とちよい飲みスペース）、もしくはスペイン風に壁を明るくペイントする
芝生広場	・短時間駐車場に芝生を張る。そのうえで例えばフリーマーケットなどを開催
居心地良く	・ベンチや足湯を置く、あかりを灯す、トイレをきれいにする、ペット連れも来やすくする、子どもの遊び場を用意するなど
音と映像	・地下道をバンドの練習場にする ・日通倉庫の壁をつかって映像を流す（日常的に）
Fablabo（製作スペース）	・駅前に必要なものを駅前で作れるスペースと工具・備品等を用意（ベンチ・イス・カウンター・看板など）

■参加者が検討した社会実験企画 「イベント使い」

企画名	企画の内容
みつけウエルネス ステーション	・基礎体力の測定+市内（商店街）ウォーキング ・バランス測定（ランキング化して1位の人にはご褒美） ・ヨガ・ダンス・太極拳
ニットフェス	・ニット祭当日に、駅前でファッションショーやパフォーマンス ・コミュニティバスで市内のニット祭会場をまわる ・夕方以降はキャンドルナイト ・日通倉庫をスクリーンとして、昼に撮影した映像を夜に流す ・駐輪場2階を観客席として利用
おいしいものを“みつけ”て	・見附のおいしいものを集めて食べる（市内のお店に出店してもらう） ・駐輪場の2階はバーとして音楽と映像を楽しむ ・広場では大道芸を見てお食事

2. 「つかう会議」と「社会実験」の進め方

(1) つかう会議の目的

- これまでの駅前カフェでは、駅前空間に今後望まれる機能や、駅前の新たな使い方について議論してきました。
- 今後はそれらの議論（思い）を実行（カタチに）していくことが求められます。つかう会議は、見附駅周辺の今後のあり方を主に使い手（市民や民間の皆さま）の立場から考え、市役所と共にできることからカタチにしていくための集いです。
- 当面の活動として、今年の秋に予定している社会実験を「つかう会議」の皆で企画し、実行します。

(2) 社会実験の目的

- 一般的に社会実験とは、新たな施策を導入する際に期間を限定して試行することです。
- 見附駅周辺の参加型社会実験では、主に以下の2つを目的とします。
 - ①目指すべき駅前空間のあり方を皆で考え、疑似的に体験し、その体験から得た結果を整備計画へと反映する
 - ②誰にも使われない駅前空間を交流の空間へと変えていくため、まずは駅前空間をみんなで使ってみる

(3) 社会実験の内容と時期の想定

- 駅前カフェの議論を踏まえ、参加型社会実験は「普段使い」と「イベント使い」の両方を試す場とします。
- 普段使い実験は、暖かい時期のうちに実施することが望ましいことから、9月下旬～10月上旬の休日1日（実験の内容によっては数日間）を想定します。
- イベント使い実験は、ニット祭りと一体的に開催することで相乗効果が得られると考えられることから、ニット祭りと合わせて11月10日（土曜日）1日を想定します。

(4) 社会実験に向けたつかう会議の進め方

	1回目&2回目の社会実験で実験するチーム	2回目の社会実験で実験するチーム
6月	・テーマ、チーム、リーダーを決める	
7月	・実施したい実験企画の検討 ・当日までに検討、準備することや実施に必要な予算（概算）の確認	
8月	・チーム内での準備の分担、当日の分担、市役所に頼みたいこと	
9月	・実験本番までの段取りの確認 ・本番での注意事項などの確認	・本番に向けた準備 （関係者との調整、資材の製作など）
10月	普段使い実験（1回目）	・実験本番までの段取りの確認 ・本番での注意事項などの確認
11月	イベント使い実験+普段使い実験（2回目）	
12月	・実験結果の共有	・実験結果の共有

【参考】賑わいや交流機会の創出を目的とした、公共空間における社会実験の事例

普段

- とにかくソトにいることを楽しむ（豊田市 あそべるとよたプロジェクト）
屋外で囲碁将棋、子どものお絵かき、絵本の読み聞かせ、工作・製作など



- いろんなタイプの休憩場所を用意してみる（松山市 大街道プレイスメイキング実証実験）



イベント

- スリッパで卓球をしてみる
（商店街など、全国各地）



- 道路でファッションショーをしてみる
（広島市 まちなかホコテン）

